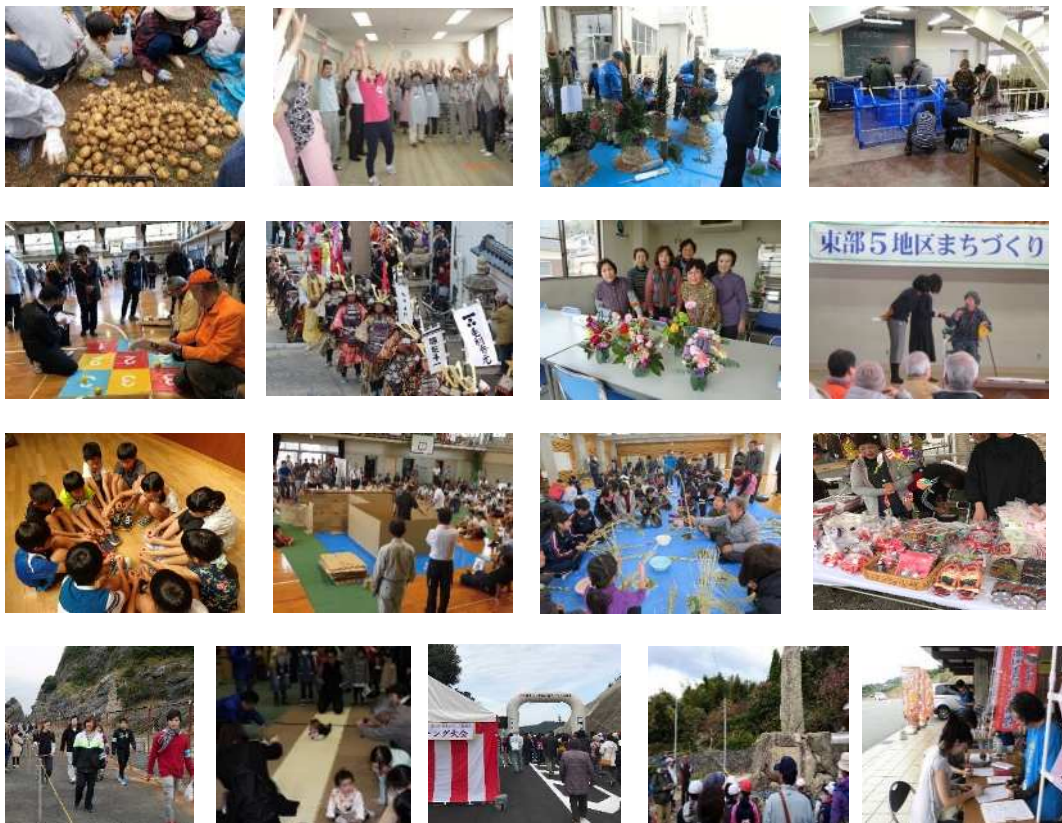


平成 29 年度

# 下関市まちづくり協議会 活動事例集



下関市

## はじめに

下関市では、平成 27 年 1 月に「下関市住民自治によるまちづくりの推進に関する条例」が施行され、本市が進める地域内分権の一つである「住民自治によるまちづくり」について明らかにするとともに、各地区のまちづくり協議会の設立をはじめ、市民と地域と行政が互いの役割と立場を尊重するまちづくりを推進してまいりました。

平成 28 年度には、市内全 17 地区でまちづくり協議会が設立され、現在、各地区において、地域の力を生かし、身近な地域課題の解決や地域活性化に向けた取組が進められています。

この事例集では、平成 29 年度に、市内 17 地区まちづくり協議会で実施された活動の一部を紹介しています。本市の特色ある活動を市民の皆様や市外、県外に向けて発信するとともに、各地区まちづくり協議会が情報を共有し、新しい事業に取り組むきっかけや、既存事業の充実を図るための参考としてご活用いただければ幸いです。

## 目次

<b>1.中東地区まちづくり協議会</b> .....	1
事例 1 遊休農地活用事業（ふれあい農園）	
<b>2.西部地区まちづくり協議会</b> .....	3
事例 1 オレンジカフェ『つづみ』	
事例 2 西部地区まちづくりフェスティバル2017	
<b>3.向洋地区まちづくり協議会</b> .....	5
事例 1 門松の作成・贈呈	
事例 2 熊本地震被災地視察	
<b>4.山の田地区まちづくり協議会</b> .....	7
事例 1 まちの美化運動『ゴミステーションのボックス化』推進	
<b>5.彦島地区まちづくり協議会</b> .....	9
事例 1 多世代交流事業『彦まちカフェ』	
事例 2 高齢者サポート活動事業	
<b>6.長府地区まちづくり協議会</b> .....	11
事例 1 城下町長府時代祭り	
事例 2 長府の寺子屋	
事例 3 コミュニティカレンダーの発行	
<b>7.長府東部地区まちづくり協議会</b> .....	13
事例 1 広報誌発行事業	
事例 2 花とこころのまちづくり事業	
<b>8.東部5地区まちづくり協議会</b> .....	15
事例 1 休耕田を活用した年間お花一杯咲かそう運動	
事例 2 認知症徘徊者声掛け模擬訓練	
事例 3 交通安全・詐欺防止チラシ配布	

<b>9.勝山地区まちづくり協議会</b> .....	17
事例 1 歴史文化研究と継承：昔話を学ぶ絵本の制作と子ども達への配布	
事例 2 花いっぱい運動：まちの花の選定及び自治会を通じた栽培促進	
事例 3 児童・生徒の安全安心対策：防犯マップ作成	
<b>10.内日地区まちづくり協議会</b> .....	19
事例 1 内日地区合同防災訓練	
事例 2 いも掘り体験イベント	
事例 3 うついのみんなで手づくり『ペットボトルツリー』	
<b>11.川中地区まちづくり協議会</b> .....	21
事例 1 認知症カフェ『オレンジカフェ』	
事例 2 綾羅木駅前立て看板『川中地区案内マップ』リニューアル	
事例 3 しめ縄づくり	
<b>12.安岡地区まちづくり協議会</b> .....	23
事例 1 ヤスオカマルシェ『カオスヤストリート』	
<b>13.吉見地区まちづくり協議会</b> .....	25
事例 1 駅裏再開発事業・駅前整備事業	
事例 2 毘沙ノ鼻広報事業	
事例 3 蓋井島島内整備事業	
<b>14.菊川地区まちづくり協議会</b> .....	27
事例 1 キッズフェスタ 2018	
事例 2 農業活性化講演会『儲かる農業』	
<b>15.豊田地区まちづくり協議会</b> .....	29
事例 1 花いっぱい運動の充実	
事例 2 国道 435 号開通記念『ふれあいウォーキング』	
事例 3 講演会の開催	



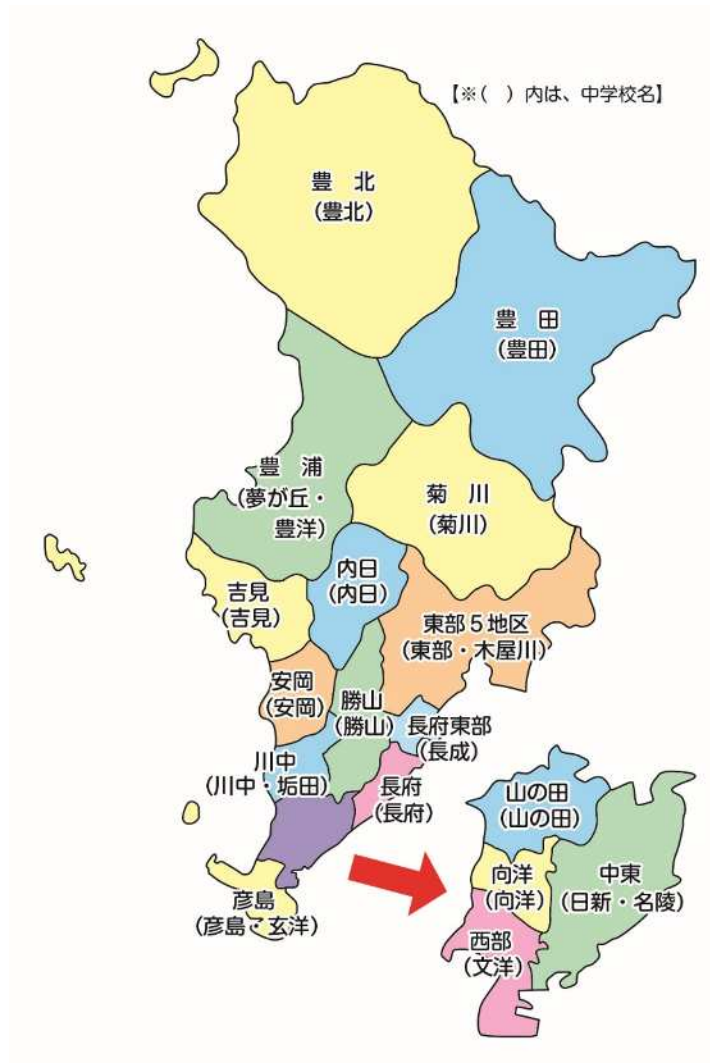
16.豊浦地区まちづくり協議会.....31

- 事例 1 婚活イベント『みかん DE デート』
- 事例 2 豊浦知っちょる会&フットパス
- 事例 3 『部会報』及び『ようこそ、豊浦へ!』発行

17.豊北地区まちづくり協議会.....33

- 事例 1 観光動向実態調査事業
- 事例 2 まちの活性化について考える『第1回ワークショップ』開催

【下関市まちづくり協議会】



# 中東地区まちづくり協議会

ホームページ <https://www.machidukuri-cyutou.com/>

メールアドレス [cyuutouchiku.machidukuriky@orchid.plala.or.jp](mailto:cyuutouchiku.machidukuriky@orchid.plala.or.jp)



## 《協議会概要》

設立年月日 平成 27 年 10 月 6 日

事務所 〒750-0005 下関市唐戸町 4 番 1 号 カラトピア 4 階

☎ / ㊚ : 083-250-8380

地域の状況 (人口) 23,283 人 (世帯数) 12,569 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 日新中学校・名陵中学校 (面積) 7.77 k m<sup>2</sup>

設置部会 総務部会、環境・防災対策部会、地域づくり部会

健康・福祉部会、子育て・青少年育成部会

活動の概要

- ・ 広報紙の発行 ・ ホームページの維持管理 ・ 図上訓練の実施
- ・ 防火防災教室 ・ サロンの開催 ・ 困りごとお助け隊の普及
- ・ 子育て活性化行事 ・ 遊休農地活用事業 ・ 北浦街道のまち興し事業 ほか



～中東地区まちづくり協議会 事例No.1～

## 遊休農地活用事業 (ふれあい農園)

活動のきっかけ

約 800 m<sup>2</sup>

地区内に、街中としては稀な遊休農地が見つかり、広範囲の地域住民が集う交流の場づくりとして活用できないかと考えました。

### 活動開始までの流れ

- 平成 28 年 3 月 土地所有者と交渉・了承取付け
- 平成 28 年度事業計画に織り込み
- 平成 28 年度第 1 回通常総会にて議決
- 平成 28 年 7 月 「サツマイモの植え付け」を実施





## 活動内容

平成 29 年度

- 6 月 サツマイモの植え付けとジャガイモの収穫
- 7 月 ジャガイモの芽吹き・土寄せ
- 9 月 大根の種まき
- 10 月 サツマイモの収穫
- 2 月 大根の収穫
- 3 月 ジャガイモの収穫

平成 3 0 年 1 1 月末現在、開催回数：延べ 1 9 回、参加人数：延べ 7 9 5 人

農園の管理のため、体験交流会開催時のみならず、日々数人のボランティアが草刈り・耕運機作業・畝づくり等に携わっています。

体験交流会は、  
年 7 回実施



## 活動の成果

- ・ 広い地域の子供から大人までが集まるので、どんどん交流の輪が拡大していきます。
- ・ 街中の住民は、普段、作物の栽培や成長の過程を体験する機会が少ないので、有意義な体験となります。
- ・ 今後の展開として、作物収穫後の食生活体験イベントを企画してみたいです。



# 西部地区まちづくり協議会

メールアドレス [qqsp7hv9k@cap.ocn.ne.jp](mailto:qqsp7hv9k@cap.ocn.ne.jp)

## 《協議会概要》

設立年月日 平成 28 年 2 月 2 日

事務所 〒750-0065 下関市伊崎町一丁目 4 番 30 号 西部公民館内

☎ / 画像 : 083-250-6455

地域の状況 (人口) 12,203 人 (世帯数) 7,498 世帯 (H30.3.31 現在)  
(中学校区) 文洋中学校 (面積) 3.25 k m<sup>2</sup>

設置部会 総務部会、福祉部会、教育部会、安全・安心部会

活動の概要 ・ 広報紙の発行 ・ 認知症カフェの運営 ・ まちづくりフェスタ開催  
・ 照子親 ・ 安全安心マップ作成 ほか

## ～西部地区まちづくり協議会 事例No.1～

# オレンジカフェ『つづみ』

### 活動のきっかけ

年々高齢化率が高まり、一人暮らしのお年寄りが増えてきている当地区。  
このような現状を踏まえ、地域の皆さんが集える場所「オレンジカフェ『つづみ』」を開設しました。

### 活動内容

音楽療法・音楽で遊ぼう  
(お馴染みの歌を、大きな声で歌い楽しめます)  
お話し・お話し  
(本を見ないで話を語ります)  
民謡で楽しく歌いまショー  
(三味線に合わせて、大きな声で歌います)  
笑いヨガ マジックショー 脳トレ  
タオル体操 コツコツ体操 など

毎月第一土曜日  
開催中!!

### 活動の成果

開催のたびに参加者が増加し、『毎月、参加することを楽しみにしています』との意見を多くいただいています。  
今後も、地区の皆さんが楽しく参加できる企画を考えながら、「オレンジカフェ『つづみ』」は継続して開催いたします。



～西部地区まちづくり協議会 事例No.2～

## 西部地区まちづくりフェスティバル 2017



### 活動のきっかけ

地域の課題解決のための手法を探るべく、平成 28 年 6 月、「夢づくりまちづくりミーティング」が開催されました。

その中で、地区内のコミュニケーションを図り、地域の絆を深めるためのイベントとして、「西部地区まちづくりフェスティバル」の開催が決定しました。

### 活動内容

第 2 回「西部地区まちづくりフェスティバル 2017」

日時：平成 29 年 9 月 30 日（土） 会場：桜山小学校

#### 【ステージイベント】

第一部 「高杉晋作と下関」のおはなし（学芸員）

「知っておきたい防災知識」（中央消防署伊崎出張所）

「動けば雷電の如く」紙芝居（劇団はぐるま座）

第二部 桜山小学校ファンファーレクラブの演奏、キッズダンス、マジック、  
バイオリン演奏、門司よさこい連0 哩の踊り、平家踊り



### 活動の成果

多くの住民の参加があり、大盛況でした。（第 2 回参加者：約 500 名）

皆さん楽しく過ごされており、地域の元気づくりに貢献できたと思います。

今後も、継続して開催したいと思います。

まちづくりのヒント

事業は、活動の内容や規模に  
応じて、活動エリアを決めて  
実施しています!!



# 向洋地区まちづくり協議会

メールアドレス [koyochikumachidukuri@helen.ocn.ne.jp](mailto:koyochikumachidukuri@helen.ocn.ne.jp)

## 《協議会概要》

設立年月日 平成 28 年 9 月 1 日

事務所 〒750-0047 下関市向山町 14 番 1 号 向山小学校内

☎ / ㉨ : 083- 250-7333

地域の状況 (人口) 9,655 人 (世帯数) 5,305 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 向洋中学校 (面積) 1.92 k m<sup>2</sup>

設置部会 総務部会、福祉部会、生活環境部会、健全育成部会

活動の概要  
・地域づくり研修会 ・広報紙の発行 ・HPの作成管理  
・高齢者対策事業 ・防災マップ作成 ・図上防災訓練  
・社会参加促進事業 ・PTA連携集会 ほか

## ～向洋地区まちづくり協議会 事例No.1～

### 門松の作成・贈呈

#### 活動のきっかけ

個人が作製した門松を見る機会があり、「自分たちも作ってみたい」との声が上がりました。

手作りの門松を地域の施設に贈呈し、多くの人が清々しい心で新年を迎えられたら、との思いから計画が始まりました。

#### 活動を振り返って

有志によって行った材料調達は、山から切り出す竹の太さや長さを決めるのが大変でした。

また、指導者講習会で練習した縄の結び方が、中々上手く行かず苦勞しました。

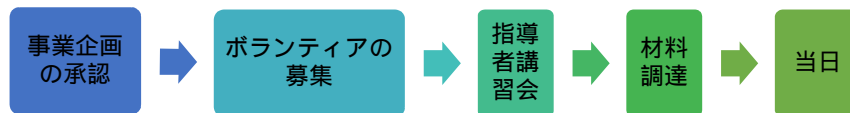
準備や作成は大変でしたが、贈呈した施設からは「来年もよろしく」と賛辞の言葉を多くいただきました。



## 活動の成果

当日は晴天に恵まれ、総勢 50 名が 4 時間をかけて作製した 18 体の門松を、地域の 9 施設に贈呈しました。これからも若い人たちや児童・生徒ボランティアと助け合いながら、伝統継承のため、活動を続けていきます。

## 【門松の作成 活動スケジュール】



～向洋地区まちづくり協議会 事例No.2～

## 熊本地震被災地視察

### 活動のきっかけ

高齢者の増加に伴い、近年、自然災害によって高齢者が被災する事例が頻発しています。高齢化が進む向洋地区においても、災害発生時の課題であると考え、計画しました。

### 活動を振り返って

築城何百年も経つ熊本城がもろくも崩れた姿を目にし、地域に甚大な被害をもたらした地震の怖さを感じました。また、自らも被災しているにもかかわらず、被災地の現状を伝える語り部としてボランティア活動をしている熊本県民の姿に感銘を受けました。

### 活動の成果

いつ、じぶんたちの生活に降りかかってくるのか分からないのが自然災害です。普段から、災害時の避難経路・避難場所の確認を含めた避難訓練を、高齢者に限らず地域全体で行うことを確認しました。また、土砂災害の起きやすい場所のチェックと地域の防災マップ作成の必要性を感じたので、市の防災マップを参考に、各箇所の点検を始めます。

設立当初から高齢化が進んでいるので、若者を発掘し、組織の若返りを目指しています!!



まちづくりのヒント👉



地域連携のかけはしに…

にじいろネット

行事予定カレンダー

## 山の田地区まちづくり協議会

ホームページ <http://yotuba2017.sakura.ne.jp/>メールアドレス [yamanotamachizukuri@road.ocn.ne.jp](mailto:yamanotamachizukuri@road.ocn.ne.jp)

## 《協議会概要》

設立年月日 平成 28 年 6 月 14 日

事務所 〒751-0834 下関市山の田東町 4 番 13 号 北部公民館内

☎ : 083-250-7955 ㊚ : 083-250-7965

地域の状況 (人口) 18,640 人 (世帯数) 9,271 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 山の田中学校 (面積) 3.77 k m<sup>2</sup>設置部会 総務部会、健康福祉部会、青少年育成部会、安全・安心部会、  
環境部会、産業・文化部会活動の概要 ・ 広報紙の発行 ・ ホームページの作成管理 ・ 美化運動  
・ 河川の自然環境保全 ・ ハザードマップ作成 ・ 防犯講習会  
・ 認知症対策 ・ 健康推進対策 ・ 地区の歴史探求 ほか

## ～山の田地区まちづくり協議会 事例No.1～

## まちの美化運動

## 『ゴミステーションのボックス化』推進

## 活動のきっかけ

地域の困りごとや問題点についてアンケート調査を実施した結果、ゴミに関する多くの意見が寄せられました。

中でも一番多かったのが、ゴミステーションの問題。

現況調査では、大半のゴミステーションが網式で、鳥獣被害を受けやすく、非常に不衛生な状態が散見されました。

## 活動開始まで

市販のゴミステーションボックスは、一基 6~16 万円と非常に高価なため、自治会や住民負担での設置は、諦めざるを得ない状況でした。

熟慮の結果、住民の方々に製作をお手伝いいただく形で、材料費 2 万円での「ゴミステーションのボックス化」が可能になりました。

材料は、ホームセンターで  
調達できます!!

## 活動内容

### 【ゴミステーションの製作】

1. 専門家から、材料手配・製作要領・作業手順等の講習を受ける
2. 希望する自治会への呼びかけ
3. 希望自治会作業の方々に、指導しながら作製

場所：山の田中学校金工室(現在空き教室)

日時：毎週日曜日 午前1回、午後1回

1日で2~3基製作しながら設置を開始しました。



## 活動の成果

平成29年度には、計36基を製作・設置しました。

その結果、設置ゴミステーションにおいては、

- ・鳥獣によるゴミのかく乱等がなくなり、カラスや猫が来なくなった
- ・清潔な状態が保たれることで、付近のポイ捨てや違法投棄が大幅に減った

などのご報告をいただいています。

このような効果から、更に頑丈な、市販の金属製ゴミステーションの設置要望が高まり、自治会や住民の負担により、独自設置したケースも増えていきます。

今後も、ゴミステーションのボックス化を推進し、地区内すべてのゴミステーションがボックス化できるまで、継続事業として実施してまいります。

## 活動で工夫したこと

事業を進めるうえで一番大切なのは、「地区内各自治会の理解」と考え、次のとおり活動に取り組みました。

1. 自治連合会長を通じ、各自治会長への主旨・目的の周知徹底を図り、理解を求める
2. 各自治会の総会等で住民の方々に理解を求める

その結果、地域の大半の方々からこの活動への賛同をいただくことになり、現在では、「自己負担をしても良いので、より良いものを設置したい」、「自ら寄贈したい」というご提案までいただくようになりました。

地区内には、製作したゴミステーションが設置できないような場所があることも判明しましたので、このようなケースについても、工夫を凝らしながら対応していきたいです。

今回の事例に関わらず、まちづくり協議会が活動するうえで大切なのは、「住民が困っていることや要望事項(ウォンツとニーズ)を的確に把握すること」です

まちづくりのヒント

協議会が的確な提案をすれば、多くの住民に賛同・協力していただけます





# 彦島地区まちづくり協議会

ホームページ <http://www.hikoshima.jp/>

メールアドレス [hikomachi@hikoshima.jp](mailto:hikomachi@hikoshima.jp)

## 《協議会概要》

設立年月日 平成 28 年 7 月 16 日

事務所 〒750-0075 下関市彦島江の浦町一丁目 3 番 1 号 彦島公民館内

☎ : 080-1916-0716

地域の状況 (人口) 26,197 人 (世帯数) 13,020 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 彦島中学校・玄洋中学校 (面積) 11.26 k<sup>2</sup>

設置部会 総務安全部会、健康福祉部会、子ども部会、六連島部会

活動の概要  
・地域づくり研修会 ・広報紙の発行 ・ホームページ作成管理  
・広域防災訓練 ・高齢者のサポート ・スポーツ大会  
・あいさつ運動、子育て支援、多世代交流 ・島外との交流会 ほか



## ～彦島地区まちづくり協議会 事例No.1～ 多世代交流事業『彦まちカフェ』

### 活動のきっかけ

65 歳以上が、人口の 36.4%を占める彦島地区。  
「ふれあいサロン」を提供することで、人と関わることの  
大切さや楽しさを知っていただけたら、と考えました。  
明るく元気で健康な心身づくり、認知症予防、孤立防止を  
目指しています。

### 活動内容

年 6 回 (月 1 回) 開催 【 】内は 29 年度の参加人数

- 10 月 : 歌声広場 【147 名】
- 11 月 : 絵手紙 (年賀状) を描く 【81 名】
- 12 月 : 元気体操 【98 名】
- 1 月 : ためになる講話 【128 名】
- 2 月 : 手づくりお菓子 【117 名】
- 3 月 : ライブカフェ 【488 名】

誰でも参加でき、  
おしゃべりのできる  
ふれあいサロンです

参加者が元気になる、  
元気になる参加型イベ  
ントを実施しています



## 活動の成果

参加者アンケートの結果、「楽しかった」と回答した人が、各回とも90%以上を占めています。  
「皆さんとお話しできて楽しく過ごせた」との意見が多くみられました。

今後は、

- ・遠くて参加できない方のための『移動カフェ』の計画
- ・子育て世代や転入者など、対象者の拡大
- ・彦島地区の明るく元気な80代女性たちが持つ知識の伝承などの取組みを目標としています。

## まちづくりのヒント

広報活動...全世帯へのチラシ配布  
情報収集...趣向を凝らした内容  
協力者の参画...地域密着型団体との連携



## ～彦島地区まちづくり協議会 事例No.2～ 高齢者サポート活動事業

### 活動のきっかけ

『高齢者をはじめとする地域住民が、住み慣れた彦島のまちで安心して暮らしていくための活動を』との思いから、始まりました。  
主として、健康な心身づくり、認知症の正しい理解と上手な付き合い方を学んでいます。

### 活動内容

- トリコロキューブ大会 【163名】
- 世代交流彦島地区スポーツ大会 【250名】
- 徘徊者捜索声掛け模擬訓練 【50名】
- 詐欺等防犯講習会「うそ電話詐欺」 【128名】
- 六連島 認知症講習会 【20名】
- 田の首町福祉講座「介護保険について」 【40名】

※【 】内は、  
29年度の参加人数



### 活動の成果

認知症について正しく理解し、徘徊時の本人の気持ちに配慮した声掛けや見守りを行えるよう、安心安全な地域ネットワークを構築することができました。  
トリコロキューブ大会には、10代から90代までの幅広い年齢層が参加し、地域と年齢を超えた交流が図れました。  
今後も、健康福祉講座の趣向を凝らし、積極的に開催していきたいです。





# 長府地区まちづくり協議会

ホームページ <http://chofu-machikyo.com/>

メールアドレス [chofu-machikyo115@circus.ocn.ne.jp](mailto:chofu-machikyo115@circus.ocn.ne.jp)

## 《協議会概要》

設立年月日 平成 28 年 1 月 15 日

事務所 〒752-0966 下関市長府亀の甲二丁目 2 番 1 号 豊浦小学校内

☎ / ㉨ : 083-250-7450

地域の状況 (人口) 16,853 人 (世帯数) 8,018 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 長府中学校 (面積) 10.33 k m<sup>2</sup>

設置部会 総務部会、安全・教育部会、健康・体育部会、商工業活性化部会、  
観光活性化部会、環境部会

活動の概要 ・ 広報紙の発行 ・ 子どもフェスタ ・ 城下町長府マラソン  
・ 商店街レベルアップ勉強会 ・ 高齢者おたすけ隊  
・ 城下町長府時代祭り ・ 海岸清掃 ほか

## ～長府地区まちづくり協議会 事例No.1～

### 城下町長府時代祭り

#### 活動のきっかけ

1800 年の歴史を誇る長府地区の良さを地区内外に知ってもらおうとともに、地域の幅広い年代に参加してもらうことで、観光はもとより、地域活性化に資する活動にもなると考えました。

これまで、地域住民からは再開を熱望されていましたが、維新にゆかりの深い長府地区にとって、翌年に明治維新 150 年を控えたこの年が、再開時期として最適であると判断し、17 年ぶりの開催が決定しました。

#### 活動の成果

市内外に長府、下関の素晴らしさを改めて知ってもらう好機となりました。また、地域の幅広い年代に参加してもらう事で、住民の郷土愛の醸成と地域活性化につながる活動になると感じました。

今後も、「時代祭り」を発信力のある行事として継続し、長府だけでなく、下関市の観光の活性化の一助となるような「祭り」に進化させたいと考えています。

#### 活動内容

開催日時：平成 29 年 12 月 3 日(日)

##### 『時代大行列』

長府 1800 年の歴史を伝える～仲哀天皇から近代まで～  
各時代の扮装を復元して行う大行列は、午前・午後の 2 回実施。歴史ゆかりの街並みを歩きました。

豊浦小・長府中・豊浦高の児童生徒と地元企業、地域住民に加え、遠くは大阪など、市外からの参加も多数ありました。

##### 『大楽市楽座』

商店街では大規模なフリーマーケットを開催し、祭りを大いに盛り上げました。

## 長府の寺子屋



### 活動のきっかけ

以前より、豊浦小と長府中で積極的に実施されていた「生涯学習講座」。地域住民と学校が双方向で支援活動を行う取組みです。  
まちづくり協議会の発足を契機に、地区内の豊浦高・長府高も加わり、パワーアップした住民向け生涯学習講座「長府の寺子屋」として開設しました。

### 活動の成果

バラエティに富み、充実した内容の講座を開設することができるようになりました。  
この活動によって、住民の心の豊かさの向上、住民間交流の促進、地域と学校の連携の深まり、生涯学習の場の拡充等が期待され、教育面での地域力アップにつながると考えています。  
今後は、教職員による講座だけでなく、地域の人材や地域資源を生かした講座、地元企業と連携した講座など、より豊富な内容を提供したいです。

### 活動内容

【講座】 平成 29 年度は、12 講座を開設  
豊浦小・長府中・豊浦高・長府高の教職員による  
住民対象講座  
高校生による小中学生対象のスポーツ講座

各種団体への案内や、自治会の回覧板で参加者を募集しています。

## コミュニティカレンダーの発行



### 活動のきっかけ

住民が、地区内で開催される各行事の情報を容易に把握できるよう、これらを網羅したカレンダーを制作することを考えました。

これにより、各種団体は、効率的な行事運営が可能になります。また、地域住民が学校行事を把握することで、地域ぐるみで子どもの安心・安全対策に取組めるなど、総合的な地域力アップにもつながります。

### 活動内容

カレンダー（4月始まり）の発行

#### 【掲載内容】

- ・地域行事・各学校(園)行事・長府に関する歴史上の出来事
- ・災害時の避難場所と連絡先 等

#### 【配布先】 発行部数 3,000 部

- ・各学校(園)の全家庭・各構成団体・地域内の公共施設

表紙には、地域の方が描いた長府の風景画を用いています。

### 活動の成果

地区内の各行事を共有できることで、地域の連帯を深めるツールとなっています。

発行部数や掲載情報の増加について要望があることから、今後は、

- ・自治会を通じた全世帯配布
- ・防災関連情報と公共施設情報の追加を考えています。

日	月	火	水	木	金	土
1 とよみ館・とよみこっぴる 発表会	2 とよみ館・お祭り 発表会	3 とよみ館・お祭り 発表会	4 とよみ館・お祭り 発表会	5 とよみ館・お祭り 発表会	6 とよみ館・お祭り 発表会	7 とよみ館・お祭り 発表会
8 とよみ館・お祭り 発表会	9 とよみ館・お祭り 発表会	10 とよみ館・お祭り 発表会	11 とよみ館・お祭り 発表会	12 とよみ館・お祭り 発表会	13 とよみ館・お祭り 発表会	14 とよみ館・お祭り 発表会
15 とよみ館・お祭り 発表会	16 とよみ館・お祭り 発表会	17 とよみ館・お祭り 発表会	18 とよみ館・お祭り 発表会	19 とよみ館・お祭り 発表会	20 とよみ館・お祭り 発表会	21 とよみ館・お祭り 発表会
22 とよみ館・お祭り 発表会	23 とよみ館・お祭り 発表会	24 とよみ館・お祭り 発表会	25 とよみ館・お祭り 発表会	26 とよみ館・お祭り 発表会	27 とよみ館・お祭り 発表会	28 とよみ館・お祭り 発表会
29 とよみ館・お祭り 発表会	30 とよみ館・お祭り 発表会	31 とよみ館・お祭り 発表会				



# 長府東部地区まちづくり協議会

ホームページ <https://chofutoubu-machikyo.jimdo.com/>

メールアドレス [machikyo-chofutoubu@aiores.ocn.ne.jp](mailto:machikyo-chofutoubu@aiores.ocn.ne.jp)

## 《協議会概要》

設立年月日 平成 28 年 4 月 5 日

事務所 〒752-0932 下関市長府松小田北町 14 番 1 号 長府小学校内

☎ / ㉨ : 083-250-8980

地域の状況 (人口) 11,851 人 (世帯数) 5,821 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 長成中学校 (面積) 7.29 km<sup>2</sup>

設置部会 つたえよう部会、つくろう部会、つなごう部会

活動の概要

- ・まちづくり研修会 ・広報紙の発行 ・ホームページ作成管理
- ・防災訓練 ・健康づくり ・きれいなまちづくり
- ・子供・地域の交流 ・世代交流イベント ほか



～長府東部地区まちづくり協議会 事例No.1～

## 広報紙発行事業

- つたえよう部会 -

### 活動のきっかけ

限られた年齢層だけでなく、年少者・青年・高齢者すべての世代に、協議会の活動報告、事業案内等を広報するため、情報発信に力を注いでいます。

### 活動の成果

地域の行事を紹介することによって、住民ひとりひとりに、その行事の主役として活動してもらう事ができました。  
事業の成功から世代間の交流が生まれ、新企画が積極的に展開されています

### 活動内容

広報紙『長府東 まちづくり』の発行  
(2か月に一度)  
ホームページの作成・管理  
フェイスブックでの広報活動





# 花とこころのまちづくり事業

- つなごう部会 -

## 活動のきっかけ

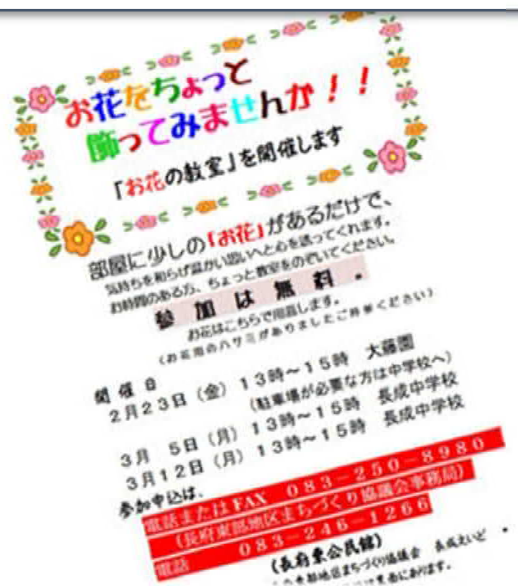
季節の花々と触れ合うことで、豊かな心を育もうと始めた事業です。

## 活動内容

- 4月 : 春の花苗配布
- 9月 : 秋の花苗配布
- 11月 : 冬の花苗配布
- 2～3月 : お花の教室

## 活動の成果

花々との触れ合いを通じて、地域の人々のつながりを生むことができました。



『お花の教室』には、3日間で、30名近い地域の方々が参加されました。2時間という短い時間でしたが、『また、このような催しを開いてください』との声が、多数寄せられました。



～ こんな活動もしています 📍 ～

## - つくろう部会 -

- 6月 交通安全講習会事業
- 7月 福祉対策事業  
【長府東部地区名作映画劇場】
- 8月 きれいなまちづくり事業  
【国道2号線沿いの花壇の除草】  
健康づくり事業  
【料理教室『夏バテ後の食べやすい食事』】
- 9月 防犯・防災・防火事業【防災に関する講演会】
- 10月 健康づくり事業【『ロコモってなに?』】



# 東部5地区まちづくり協議会

メールアドレス [toubu5k@wind.ocn.ne.jp](mailto:toubu5k@wind.ocn.ne.jp)

## 《協議会概要》

設立年月日 平成 27 年 12 月 1 日

事務所 〒750-1142 下関市小月本町一丁目 7 番 7 号 小月公民館内

☎ / ㊟ : 083-250-7330

地域の状況 (人口) 25,963 人 (世帯数) 11,758 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 東部中学校・木屋川中学校 (面積) 73.39 km<sup>2</sup>

設置部会 総務部会、環境部会、安全・安心部会、健康福祉部会、  
青少年育成部会、産業・観光部会

活動の概要 ・広報誌発行 ・中学生まちづくりアンケート実施 ・防火訓練及び  
防災研修会 ・災害時対応ゲーム ・視察研修 ・認知症、徘徊者  
声かけ模擬訓練 ・青少年体験学習 ・ゴミのポイ捨て防止看板設置、  
ゴミのポイ捨てパトロール ・観光散策マップ作成 ほか

## ～東部5地区まちづくり協議会 事例No.1～

休耕田を活用した

## 年間お花一杯咲かそう運動

～環境部会～

### 活動のきっかけ

・地域住民の交流 ・観光振興 ・休耕田の活用

### 活動内容

地区内にある4カ所の  
休耕田について、

- ・草刈り
- ・田鋤き
- ・肥料散布
- ・播種

(3カ所：菜の花、1カ所：ひまわり)

を、地区の皆さんにご協力いただいて実施しました。  
随時、生育途中の観察、草刈り、施肥を行います。



### 活動の成果

猛暑や度重なる台風の影響で、土地によって生育の  
良いところと悪いところがあり、苦労しました。

また、満開期の観賞場所としてはやや問題のある田  
もあり、土地選びの再考も必要です。

ひまわりについては、種まき直後に、数度にわたり  
山鳩に襲われるという不運に見舞われ、『お花一杯咲  
かそう』の目標が叶いませんでした。次回からは苗  
を植え付ける方式で、再チャレンジします。

今後も、継続して取り組みます。



# 東部5地区まちづくり

～東部5地区まちづくり協議会 事例No.2～

## 認知症徘徊者声掛け模擬訓練

～生活福祉部会～



### 活動のきっかけ

- ・認知症による徘徊で、命を落とす高齢者を減らしたい
- ・家族だけでは支えきれない現状をなんとかしたい

### 活動手順

1. 訓練の目的等を参加者に説明
2. 王司公民館を中心に、地区を4ブロックに分ける
3. 各エリア内を行方不明者役の人が歩き、グループごとに捜索する
4. エリア内で行方不明者を発見したら、警察官に通報し、行方不明者と一緒に王司公民館に戻る
5. 各グループごとに反省会を行い、意見感想を発表

### 活動の成果

～参加者からの意見～

- ・『声掛け』の難しさを感じた(小学生)
- ・発見者の場所を、正確に通報してほしい(警察)
- ・今回の訓練を理解し、今後の活動に役立てたい

困っている人に声を掛けることは意外に難しいということが分かりました。  
今後も定期的の実施し、地域に貢献していきたいです。

～東部5地区まちづくり協議会 事例No.3～

## 交通安全・詐欺防止チラシ配布

～安全・安心部会～

### 活動のきっかけ

高齢者の交通事故や、振り込め詐欺被害がふえているため

### 活動内容

交通事故や詐欺被害を未然に防止するため、民生児童委員と長府警察署の協力を得て、1人暮らしの高齢者(80歳以上)宅を26戸訪問しました。長府警察署長からは、反射材と電話の近くに貼付する「詐欺防止ステッカー」が手渡されました。

### 活動の成果

被害が直ちにはなくなることはないでしょうが、少しでも被害者が減るように、地域の方々と協力しながら、これからも続けていきたいです。





# 勝山地区まちづくり協議会

ホームページ <https://katsuyamachikuinto.wixsite.com/katsuyama>

メールアドレス [katsumachi@theia.ocn.ne.jp](mailto:katsumachi@theia.ocn.ne.jp)



## 《協議会概要》

設立年月日 平成 28 年 12 月 15 日

事務所 〒751-0872 下関市秋根南町二丁目 4 番 33 号 勝山公民館内

☎ / 画像 : 083-250-7522

地域の状況 (人口) 24,865 人 (世帯数) 12,133 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 勝山中学校 (面積) 21.94 k m<sup>2</sup>

設置部会 地域活性化部会、教育文化部会、健康福祉部会、居住環境部会、  
安心安全部会

活動の概要 ・ 広報紙発行・歴史文化研究と継承 (絵本制作、郷土史研修)  
・ 地域の防犯、防災対策 ・ まちづくり活性化研修会 ・ 健康フェスタ  
・ 美化運動 (花いっぱい活動、カラス被害撲滅活動) ほか



## ～勝山地区まちづくり協議会 事例No.1～

### 歴史文化研究と継承

昔話を学ぶ絵本の制作と  
子ども達への配布

#### 活動のきっかけ

勝山地区に伝承されてきたわらべ歌が忘れ去られつつあることに危機感を持ち、是非とも子ども達に伝えていきたいとの思いから、活動を始めました。地元の児童文庫「あおやま文庫」代表の黒瀬圭子さんを中心に、わらべ歌に関する資料を収集し、地区の子ども達と共に絵本と DVD をセットで制作することにしました。

#### 活動内容

1. 収集した資料を基に、元清和保育園園長の伊原知子さんに取材し、わらべ歌の実演ビデオを制作
2. ビデオを鑑賞しながら、勝山小と一の宮小の児童で、歌いながら遊ぶ
4. 児童が歌って遊んでいる様子を撮影し、DVD を制作
3. 歌のイメージをふくらませ、児童一人一人が絵を描いて絵本を制作
5. 完成した絵本と DVD を、地区の幼稚園・保育園・中学校と市内全小学校へ配布【制作部数：200 セット】

#### 活動の成果

この活動を通して、子ども達の中に「勝山地区に伝わる昔話、わらべ歌を知り、大切な文化を継承していこう」という思いと、ふるさと勝山を愛する心が育つ様子が感じられました。今後も、テーマを考えながら、活動を続けていきたいです。



## 花いっぱい運動 まちの花の選定及び 自治会を通じた栽培促進



### 活動内容

#### 《勝山公民館周辺》

人々が最も集う場所として、まず公民館周辺に四季折々の花を植栽しました。 随時実施：散水、雑草・ゴミ除去

5月中旬：ペチュニアの剪定と部会看板の設置

5月下旬：ランタナの植栽と花壇整備

7月初旬：花の剪定と花壇整備

8月上中旬：日々草の植栽

12月初旬：シクラメンとピオラの植栽、ランタナの剪定、花壇整備

3月下旬：チロリアンデイジーとオステオスペルマムの植栽

#### 《各自治会》

各自治会長の支援を得て、希望する自治会に花苗を配付しました。

8月上中旬：日々草 1,160 鉢を各自治会へ配付

### 活動のきっかけ

地区内の公共施設等には、花壇や植栽専用器が多数設置されていますが、その多くが十分に活用されていない状況でした。

勝山を花いっぱいでき飾り、まちの環境美化を図ることで、住民一人一人が心豊かで潤いある暮らしができる、魅力あるまちづくりが実現できると考えました。

『みんなのハートに花いっぱい』をスローガンに、地区全体に活動の輪を広げ、まちの活性化を図ります。

### 活動の成果

公民館周辺については、来館者や通行人の方々より「多くの花々がきれいできもちいいですね」といったお褒めの言葉をいただきます。また、苗を配付した自治会長からは、次の配付時期や花の種類に関する問合せが増え、運動の輪が少しずつ広がっています。

今後は、公民館周辺での花の植栽を継続しながら、花の種類や植栽本数の増加を図ります。引き続き、各自治会長とも連携しながら、本活動を推進します。

## 児童・生徒の安全安心対策 防犯マップ作成

### 活動のきっかけ

昨今、「登下校中に声を掛けられた・触られそうになった・怖い思いをした」等の訴えが多く寄せられるようになりました。実情に応じた防犯対策を講じるため、できるだけ多くの情報を盛り込んだ地図等の作成の必要性を感じ、安全安心部会の活動として取り組むことになりました。

### 活動内容

1. 多目的に利用できる勝山地区の白地図を作成
2. 地区内小・中学生のアンケート結果により、地図を下記5項目に色分け表示  
(1)危ないと感じた場所 (2)怖いと感じた場所  
(3)声を掛けられた場所 (4)不審者目撃場所  
(5)触られそうになった場所
3. 勝山交番管轄内の犯罪認知件数を円柱図形で表示

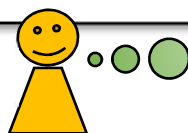
その他のデータについては、『築こう住みよいかつやま』と題した冊子にまとめました。

### 活動の成果

防犯マップやデータ集を広く配布したことで、住民に実情を周知することができました。自治会で通学路や一般歩道の総点検を行ったり、児童・生徒からの要望に応じて道路整備が実施されるなど、子ども達はもとより地域住民からも感謝されています。

今後は、小・中学生を含めた地域全住民での取組みに発展させる予定です。

まちづくりのヒント



事業は、5部会ごとの活動が基本ですが、実際には意欲のある人が部会の枠を超えて参加しやすいようプロジェクトチーム方式をとっています

# 内日地区まちづくり協議会

ホームページ <https://utsui-machikyo.jimdo.com/>

メールアドレス [utsuimk01@helen.ocn.ne.jp](mailto:utsuimk01@helen.ocn.ne.jp)

## 《協議会概要》

設立年月日 平成 28 年 1 月 26 日

事務所 〒750-0253 下関市大字内日下 1146 番 5 内日公民館内

☎ : 090-9067-7944

地域の状況 (人口) 1,160 人 (世帯数) 528 世帯 (H30.3.31 現在)  
(中学校区) 内日中学校 (面積) 29.64 k m<sup>2</sup>

設置部会 総務部会、産業・環境部会、暮らしの安全と教育部会、  
活性化・イベント部会

活動の概要  
・地域づくり研修会 ・総合防災訓練 ・広報紙の発行  
・ホームページの作成管理 ・農業の担い手の育成 ・子どもの見守り  
・高齢者の見守り ・学校と地域の交流 ・イベントの実施 ほか

～内日地区まちづくり協議会 事例No.1～

## 内日地区合同防災訓練

### 活動のきっかけ

内日地区のすぐ近くを通る菊川断層。この断層が動いて地震が起きた場合、マグニチュード7～8程度が想定されています。

防災訓練を繰り返し行うことで、地域住民の防災意識を高め、万が一の自然災害の発生時に、適切な避難行動ができるよう、実施を決めました。

### 活動内容

実施日 : 平成 29 年 7 月 2 日(日)

参加団体 : 内日自治連合会、内日小学校、内日中学校

災害想定 : 平日の午後 1 時、震度 7 の地震発生

#### 【訓練内容】

- ・住民 各地区の避難所に一時避難  
その後、指定避難所へ避難
- ・各自治会長 住民の安否・被災状況を確認し、本部へ報告
- ・小中学生 保護者引き渡し訓練

避難訓練後は、消防署による防災訓練を実施

- ・AED 操作・簡易担架の作り方・段ボールパーテーション作り

### 活動の成果

万が一災害が発生したとき、まず何をするのか、どの経路で避難したらよいか、避難所ではどうしたらよいか、自助・共助・公助のあり方など、地域住民にとって勉強になったと思います。

今後も繰り返し実施することで、継続的に防災意識を高め、災害に備えていきます。





～内日地区まちづくり協議会 事例No.2～

## いも掘り体験イベント

### 活動のきっかけ

当地区は、少子高齢化が進み、地区の存続が危ぶまれる状況にあります。

『いも掘り』という楽しい作業を子ども達に体験してもらおう事で、将来、当地区の主幹産業である農業の担い手となってほしい、との願いを込めて開催しました。

### 活動内容

- 6月 : 耕地にサツマイモの苗を植え付け
- 収穫期 : 内日地区在住の児童生徒と未就学児に開催案内を配付
- 事前準備 : つるはずし 等
- 11月3日 : 収穫体験

収穫したサツマイモは、参加者に配布し、ふかし芋の試食も行いました。

### 活動の成果

地区の幼稚園が休園となり、地区外の学校(園)に通う子ども達も増えています。普段、同じ地区に住みながら、お互いに顔を合わせることもなく過ごしている子ども達が、一堂に会す良い機会にもなりました。

今後もイベントを継続し、農業への関心を高めてもらうとともに、子ども達や保護者の連帯感を深める場としても定着させていきたいです。

～内日地区まちづくり協議会 事例No.3～

## うついのみんなで手づくり 『ペットボトルツリー』

### 活動のきっかけ

「なんとか内日に元気と明るさを取り戻したい」という強い願いから、『住みたい・帰りたい』と思える郷土のシンボルづくりを発案しました。沿道を往来する地区外の人々に地区の魅力を発信し、知名度を高める狙いもあります。

### 活動内容

点灯期間：平成29年12月～平成30年1月の夜間  
展示場所：旧内日ライスセンター前広場(県道脇)

- ・住民に呼びかけ、使用済みペットボトル(500ml)を約3,000本収集
- ・LED電飾を施したペットボトルツリーを2基(5mと3m)作製し、クリスマスイルミネーションとして展示

### 活動の成果

組立作業や点灯式には、住民や子ども達にも参加してもらい、地域ぐるみで内日の冬の名所を手づくりしました。

活動も2年目を迎え、住民が『わがまち内日』に誇りを持ち、「まちづくりに関わることで何かが変えられる」という意欲と達成感につながっています。地区外からも高評価を受けており、地区を代表する冬のイベントとして着実に浸透してきたので、今後もスケールアップしながら継続していきたいです。





# 川中地区まちづくり協議会

ホームページ <http://www.kawamachi-dukuri.jp/>

メールアドレス [kawamachi@galaxy.ocn.ne.jp](mailto:kawamachi@galaxy.ocn.ne.jp)

## 《協議会概要》

設立年月日 平成 28 年 9 月 28 日

事務所 〒751-0864 下関市伊倉町二丁目 1 番 1 号 川中公民館内

☎ / ㊚ : 083-250-6525

地域の状況 (人口) 32,193 人 (世帯数) 16,240 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 川中中学校・垢田中学校 (面積) 8.00 k m<sup>2</sup>

設置部会 総務・産業部会、安全・安心部会、環境部会、福祉部会、  
子ども育成部会、健康スポーツ部会

活動の概要  
・地域づくり研修会 ・広報紙の発行 ・ホームページの管理  
・高齢者対策事業 ・地区防災訓練 ・案内看板製作  
・花いっぱい運動 ほか

## ～川中地区まちづくり協議会 事例No.1～

# 認知症カフェ『オレンジカフェ』

- 健康福祉部会 -

### 活動のきっかけ

『新聞記事で目にした「認知症カフェ」を当地域でも!』  
という強い思いから、立ち上げが決定。  
認知症予防と、認知症の方を抱える家族のケアを目的  
に、事業がスタートしました。

### 活動内容

認知症予防のための脳トレゲーム  
ハーモニカ・ピアノ・オカリナ奏者による演奏会  
園児との交流【歌・お遊戯・手遊び】  
セラピードッグとのふれあい  
健康体操 笑いヨガ  
カイロプラクティック施術師による整体体操  
コンピューターによる「物忘れ度合い測定チェック」

### 活動の成果

開催数 100 回超

参加延べ人数 3,000 人のうち、400 人が認知症の方と  
その家族です。今後の課題は、  
・家族の方々と地域の方々に「オレンジカフェ」の  
存在をもっともっと知ってもらうこと  
・支援スタッフの増員と次世代の支援スタッフの養成  
です。

～川中地区まちづくり協議会 事例No.2～

綾羅木駅前 立て看板

# 『川中地区案内マップ』 リニューアル

- 産業振興部会 -



## 活動のきっかけ

「川中地区まちづくり協議会」の設立をきっかけに取組みを決定しました。

地区の産業や歴史を情報提供することで、観光客の呼び込みと産業振興を図ります。

## 活動内容

基となるマップ探しから始まり、掲載情報に関する記事【史跡・遺跡・神社仏閣・名勝・景観・公共施設・街並み】の収集・立案に10カ月余りを費やしました。限られた予算の中で苦勞しましたが、斬新な案内マップが完成しました。

## 活動の成果

航空写真と史跡等の写真を使用したことで、レイアウトが新しくなり、駅を訪れた人々の目を引くマップになりました。

今後は、HP上にも案内マップと詳細な情報サイトを掲載し、観光・産業振興に繋げたいです。

～川中地区まちづくり協議会 事例No.3～

# しめ縄づくり - 子ども育成部会 -

## 活動のきっかけ

『地域の子供は地域で育てる』をモットーに、伝統文化の継承を目的として実施しました。地域の小・中学校の教育支援の一環でもあります。



## 活動内容

**会場：川中中学校【参加人数 160名】**

経験豊富な大人が1名ずつ、8グループの指導にあたりました。参加者も多く、大変な盛り上がりでした。

**会場：垢田中学校【参加人数 90名】**

スタッフ11名が担当。親子で一生懸命に取り組む姿が見られ、完成時には歓声が沸き起こりました。

## 活動の成果

小さな子どもへの指導方法と、希望者全員を受け入れるための指導者や材料の確保が今後の課題です。子どもたちを通じて、若い世代と地元の人々とが交流する、素晴らしい行事となりました。

この行事をツールに、次世代の協議会を担う後継者の養成を目指したいです。



# 安岡地区まちづくり協議会

ホームページ <http://yasuoka-kataroute.jimdo.com/>

メールアドレス [sukizaki583@vega.con.ne.jp](mailto:sukizaki583@vega.con.ne.jp)



## 《協議会概要》

設立年月日 平成 27 年 12 月 15 日

事務所 〒759-6612 下関市安岡駅前二丁目7番1号 安岡公民館内

☎ / 画像 : 083-250-8110

地域の状況 (人口) 14,562 人 (世帯数) 6,910 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 安岡中学校 (面積) 16.40 k m<sup>2</sup>

設置部会 総務部会、住民要望実現部会、事業推進部会、雇用創出部会

活動の概要

- ・地域づくり研修会
- ・広報紙の発行
- ・フィールドワーク
- ・防災マップの作成
- ・ふれあいフェスタ
- ・高齢者の見守りと交流
- ・友田川ほたる育成
- ・安岡名勝、遺跡マップ
- ・なかよし文庫 ほか



## ～安岡地区まちづくり協議会 事例No.1～

ヤスオカマルシェ

# 『カオスヤストリート』

### 活動のきっかけ

「安岡駅前通りを活気あふれる通りにしたい」という、まち協の若いメンバーからの働きかけをきっかけに、地元外の団体も含めた多くの若者たちのアイデアから、開催が決定しました。

実行委員会の立上げ：平成 29 年 11 月

### 活動内容

開催日時：平成 30 年 3 月 18 日（日） 10：00～16：00（雨天決行）

会場：JR 安岡駅前歩行者天国、村田実商店駐車場

外部協力団体：YGC(吉見ガールズコレクション)・下関市立大学生 等

出店数：23 店舗

イベント：スタンプラリー、安岡消防団による餅つき実演販売&ぜんざい振舞い(先着 100 名) 段ボール広場でキッズ工作、下関で唯一の薪で焚く銭湯(だるま湯)体験ツアー

地域住民の了解のもと、JR 西日本、下関警察署の許可を得て実施しました。

来場者数は、  
約 1,500 名

## 活動の成果

- ・初めての試みでしたが、問題もなくスムーズに開催できました。
- ・来場者からは、励ましの声や、「定期的を実施してほしい」等の前向きな意見を多数いただきました。
- ・若者を中心にスタートした企画ということもあり、普段のまち協のイベントとは異なり、若者の来場が特に目立ちました。
- ・ホームページで開催を知ったという地元以外からの出店依頼も多くありましたが、「安岡駅前通りを活気あふれる通りに」という当初の狙いと兼ね合いもあり、その受入れについては、今後の検討課題となります。
- ・年度末という開催時期についても、今後、議論の余地があると感じています。
- ・安岡地区まちづくり協議会の事業として、2回3回と継続して実施していきたいです。

## まちづくりのヒント

執行委員会を毎週開催することで、事業の進捗状況の確認、役割分担の決定など、きめ細やかな準備ができました

ホームページや月刊誌『カタローテ』による広報活動に力を入れました  
また、カモンFM、J:COMなど、マスコミ各社にも協力していただきました

地元への情宣活動についても、再度徹底していきたいです





# 吉見地区まちづくり協議会

ホームページ <http://yoshimi.lomo.jp/>

メールアドレス [yoshimichiku-machidukuri@outlook.jp](mailto:yoshimichiku-machidukuri@outlook.jp)

## 《協議会概要》

設立年月日 平成 27 年 11 月 4 日

事務所 〒759-6523 下関市吉見下 1533 番地 吉見公民館内

☎ : 083-250-8756 ㊚ : 083-250-8211

地域の状況 (人口) 5,595 人 (世帯数) 2,931 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 吉見中学校 (面積) 26.50 k m<sup>2</sup>

設置部会 まちづくり部会、安全・健康・教育部会、イベント部会、  
吉母部会、蓋井島部会

活動の概要 ・ ホームページの作成管理 ・ 広報紙の発行 ・ 広域防災訓練  
・ 吉見駅周辺の環境整備 ・ 毘沙ノ鼻整備および広報  
・ 蓋井島島内整備 ほか

～吉見地区まちづくり協議会 事例No.1～

## 駅裏再開発事業・駅前整備事業

### 活動内容

#### 【駅裏再開発事業】

- ・ 駅裏の遊休地にあじさい等の植栽を行います。
- ・ 29 年度はその準備段階として、雑木の伐採、雑草の刈取りを複数回にわたり実施しました。

#### 【駅前整備事業】

- ・ 平成 27 年度より始めた「吉見駅花いっぱい運動」が中心
- ・ 年に一度、下関市園芸センターから提供されるナデシコの花苗を、吉見中学校の生徒と住民のボランティアによって植栽しています。(駅前周辺と駅構内)
- ・ 月に一度、住民ボランティアが草取り・水やりをしています。

### 活動のきっかけ

吉見地区の玄関口である JR 吉見駅周辺の環境整備(緑化・美化運動)を行うことで、地区住民及び来訪者に対して、爽快感や癒しを与える空間づくりを目的としています。

### 活動の成果

【駅裏再開発事業】は、来年度以降にあじさいの植栽が出来るよう、引き続き草刈りや整地を行います。

【駅前整備事業】(吉見駅花いっぱい運動)は、中学生と住民の協働が大きな成果です。

両事業とも、継続して活動することが最も重要です。その原動力となる住民ボランティアや JR 西日本等関係団体の協力もいただきながら、活動を進めていきます。



～吉見地区まちづくり協議会 事例No.2～  
 びしゃのはな  
**毘沙ノ鼻広報事業**

**活動のきっかけ**

本州最西端の地である毘沙ノ鼻を、観光資源として有効活用することを目的とします。

**活動内容**

毘沙ノ鼻周辺を散策するウォーキングイベントを開催し、市内外の方々へ『観光資源としての毘沙ノ鼻』の認知度向上を図っています。



**活動の成果**

観光ガイドによる案内、水産大学校生による高齢の参加者へのサポートといったボランティアの活躍や、現地での本州最西端到達証明書の発行などが参加者の方々に好評です。今後もイベントを継続し、観光スポットとして定着させることを目指しています。

～吉見地区まちづくり協議会 事例No.3～

ふたおいじま  
**蓋井島島内整備事業**

**活動のきっかけ**

市内に2つある有人離島のうちの1つである蓋井島。島内の活性化を目指しています。



**活動内容**

島内の草刈り  
 公園への休憩所の設置  
 (公財)日本離島センター  
 「しま山100選」に選ばれた  
 金比羅山の遊歩道『やまどりの散歩道』の階段設置



**活動の成果**

島内の整備については、島民を挙げて取り組んでいます。近年は、島外からの転入者も増え、島民における若年層比率は高まっていますので、女性転入者の活躍の場の模索にも力を入れています。



# 菊川地区まちづくり協議会

ホームページ <http://kikugawa-machikyo.jimdo.com/>

メールアドレス [machi-kiku927@dune.ocn.ne.jp](mailto:machi-kiku927@dune.ocn.ne.jp)



## 《協議会概要》

設立年月日 平成 27 年 9 月 28 日

事務所 〒750-0313 下関市菊川町大字田部 747 番地 4

菊川総合支所第 3 庁舎内

☎ / 📠 : 083-250-8401

地域の状況 (人口) 7,690 人 (世帯数) 3,308 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 菊川中学校 (面積) 83.78 k m<sup>2</sup>

設置部会 総務部会、健康福祉部会、地域活性部会、防犯防災環境部会、  
青少年育成部会

活動の概要

- ・ 障害者同志の交流 ・ 夏祭り元気ステージ ・ 高齢者健康セミナー
- ・ ホームページ開設 ・ 菊川スポーツフェスティバル ・ 高齢者見守り事業
- ・ 防犯防災啓発事業 ・ キッズフェスタ ・ 広報紙発行 ・ 農業活性化講演会
- ・ 子ども 110 番の家幟作成 ・ まちづくり通信発行 ほか

## ～菊川地区まちづくり協議会 事例No.1～

### キッズフェスタ 2018

#### 活動のきっかけ

「ふるさと子ども達に楽しい思い出を」  
「ふるさとの将来を担う子ども達に、もっともっとふるさとを好きになってほしい」  
との思いから、開催を決めました。

#### 活動内容

あそび屋台：ふわふわドーム、射的、ダーツ、  
サッカーナイン、輪投げ  
体験教室：ハンコ作り、琴教室  
実験教室：CD で虹を見よう、簡単手作りカイロ、  
レモン電池作り、自転車による発電体験  
読み聞かせ：人形劇 ほか  
体を動かす：乳児によるハイハイレース、  
幼児・小学生による雑巾がけレース





## 活動の成果

- ・町内外より約 600 名の親子が集まり、大変な賑わいでした。
- ・イベントについては、単なる娯楽では長続きしないと考え、『楽・知・体』のバランスを取りながら構成しました。  
また、市役所環境部、菊川中学校理科担当の先生、琴教室、人形劇劇団ほか、多くの方々のご協力をいただきました。
- ・冬の寒い折、家にこもってゲームやスマホで遊んでいるであろう子ども達を、どんどん『キッズフェスタ』に呼び込みたいと考えています。今後は、菊川地区の冬の恒例行事として、もっともっと内容に磨きをかけていきたいです。

乳児による『ハイハイレース』は市報しものせき(2018年4月号)の表紙を飾りました!!



## ～菊川地区まちづくり協議会 事例No.2～

# 農業活性化講演会 『儲かる農業』

### 活動のきっかけ

菊川地区の基幹産業である農業が、「儲からない」「少子高齢化」「後継者不足」から、衰退を続けています。  
『儲かる農業』をし、農業所得を向上させれば、地域に賑わい・活気が戻ると考え、長崎でIT技術を駆使し、年中レタス生産をしている農業者を招き、講演していただきました。

### 活動内容

#### 《講演会要旨》

- ・現在、日本農業は、「儲かる」「儲からない」の二極化が進んでいる。
- ・長崎で農業を営む講師が実施しているのは、生産物の価値を高めるため、農業者が生産から加工・販売までを手掛ける農業の『6次産業化』。
- ・利益を上げる具体例として、長野・茨城ほかの農家と広域連携した、ハンバーガー等の重要食材であるレタスの高値販売を実施している。
- ・この事業の根幹をなしているのは、パソコン(IT)を駆使したネットワークの構築である。

### 活動の成果

菊川地区の最大の活性化策は、「農業所得の向上」です。現在、地区ごとに農業法人を立ち上げていますが、そのほとんどが、経営赤字を補助金、助成金でしのいでいる状態です。  
『農業の最後の砦である農業法人をいかに守っていくか』  
今後も農業活性化に重点を置き、利益を上げている農業法人経営者のお話を伺いたいと考えています。

### まちづくりのヒント



『まちづくり計画の策定を早く』  
住民の共通目標となるまちづくり計画を策定し、それを踏まえた活動計画を立てれば、真に地域に根付いた活動が実施できるのではないのでしょうか？

# 豊田地区まちづくり協議会

ホームページ <http://toyota.main.jp/>

メールアドレス <mailto:toyota.machizukuri@clock.ocn.ne.jp>

## 《協議会概要》

設立年月日 平成 28 年 2 月 2 日

事務所 〒750-0424 下関市豊田町大字矢田 149 番地 1 豊田生涯学習センター内

☎ / ㉨ : 083-766-0775

地域の状況 (人口) 5,205 人 (世帯数) 2,395 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 豊田中学校 (面積) 163.47 k m<sup>2</sup>

設置部会 ネットワーク豊田町、ネットワーク殿居、ネットワーク豊田中、  
ネットワーク三豊、ネットワーク西市、ネットワーク豊田下、  
(各ネットワーク内に、「ふれあいグループ」「ふるさとグループ」  
「すこやかグループ」を設置)

活動の概要 ・ 広報紙の発行 ・ ホームページ管理運営 ・ 空家の有効活用  
・ まちコンの実施 ・ 有害鳥獣被害防止策 ・ 名所旧跡の整備  
・ 交流グランドゴルフ大会 ・ 花いっぱい運動の充実  
・ 音楽コンサート開催 ・ 祭りで地域を盛り上げる ほか

## ～豊田地区まちづくり協議会 事例No.1～

### 花いっぱい運動の充実

#### 活動のきっかけ

町内の花壇を充実させ、町中が花でいっぱいになり、  
見る人々の心を和ませたいとの思いから、活動実施  
が決まりました。

#### 活動内容

6月と11月  
西市高校から花苗をいただく。  
それぞれの地区に持ち帰り、住民や小学生で花壇  
に植栽

各地区から要望のあった花壇への、ベンチの設置に  
も取り組んでいます。

#### 活動の成果

今後も、地域で協力し合い  
ながら、豊田町中の花壇を  
花でいっぱいにしていきます。





～豊田地区まちづくり協議会 事例No.2～

国道 435 号開通記念

『ふれあいウォーキング』

国道435号バイパス開通記念 豊田地区まちづくり協議会  
ふれあいウォーキング大会

活動のきっかけ

平成 29 年 12 月、国道 435 号の豊田町大字殿敷から大字八道までの区間の供用開始を記念して、開催しました。

活動内容

開催日 : 平成 29 年 12 月 24 日 (日)  
参加人数 : 約 300 名

開通記念行事終了後、力強い八幡太鼓の演奏を合図にスタート。  
往復約 4.5 kmの道のりを、道いっばいに広がって、各自思い思いのペースでウォーキングしました。

活動の成果

ゴールした人々には、『完歩記念証』を発行しました。車道を歩くという貴重な体験で参加者は思い出に残る数時間を過ごしました。



～豊田地区まちづくり協議会 事例No.3～

講演会の開催

活動のきっかけ

農業の抱える問題点と今後の在り方について、当事者の講演を聞くことで、自らのスキルアップなどに役立ててもらうために開催しました。

活動内容

開催日 : 平成 29 年 11 月 18 日 (土)  
テーマ : 『農業地域と集落営農法人のこれから』  
講師 : (農事組合法人)嘉年ハイランド 平山 徹氏  
参加者 : 35 名

農業法人の経営の在り方や、今後の農業経営の予測などについて学びました。

活動の成果

農業の抱える現状の分析と、団塊世代が 75 歳になるまでの今後 5 年間の展望など、IT 企業から農業へ転身した講師ならではの講演内容は、とても参考になりました。講演終了後の質疑応答も活発に行われ、有意義な講演会になりました。





# 豊浦地区まちづくり協議会

ホームページ <http://toyouramachidukuri.wixsite.com/kyougikai>  
 メールアドレス [toyoura-machidukuri@chic.ocn.ne.jp](mailto:toyoura-machidukuri@chic.ocn.ne.jp)

## 《協議会概要》

設立年月日 平成 27 年 12 月 1 日

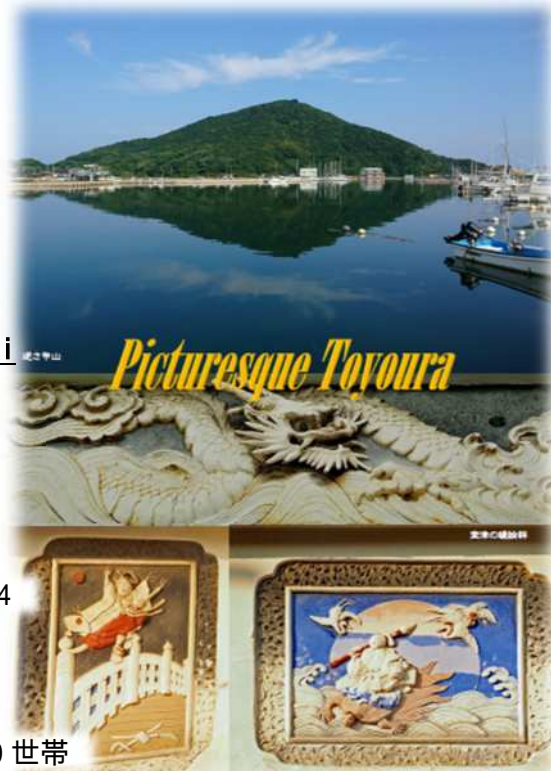
事務所 〒759-6301 下関市豊浦町大字川棚 7112 番地 4  
 豊浦コミュニティ情報プラザ内

☎ / 画像 : 083-227-2744

地域の状況 (人口) 17,188 人 (世帯数) 8,000 世帯  
 (H30.3.31 現在) (中学校区) 夢が丘中学校・豊洋中学校 (面積) 163.47 k m<sup>2</sup>

設置部会 少子化対策部会、地域活性化部会、生活環境部会、医療福祉部会、  
 文化・スポーツ部会

活動の概要 ・中期計画の検討 ・若者支援事業 ・地域マップ作り ・買物難民対策  
 ・空き家対策 ・豊浦知っちょる会講演会 ・みかん DE デート  
 ・広報紙の発行 ・ホームページの作成管理 ほか



## ～豊浦地区まちづくり協議会 事例No.1～ 婚活イベント 『みかん DE デート』

### 活動のきっかけ

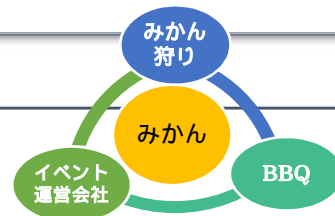
地域の少子化対策を考える中、『若い夫婦に住んでもらうための婚活イベントを開催しては?』との意見が出たことが発端です。  
 思案の結果、豊浦町の名産「みかん」からイメージを膨らませた本事業の実施が決まりました。

### 活動内容

イベントでは、BBQ、みかん狩り、クイズ大会を実施。男女各 14 名が参加しました。アンケートによると、男性の居住地が豊浦町限定であること  
 みかん狩り体験  
 共同作業(みかん狩り・BBQ の準備)による親交  
 巧みな司会進行  
 などが好評でした。

### 活動の成果

最大の成果は、7 組のカップル成立。  
 豊浦町の名産「みかん」の PR にもつながりました。まちづくり協議会の活動に役立つ若い意見を聞くこともできたので、今後も継続的に実施していきたいです。





# 豊浦知っちょる会&フットパス



## 活動のきっかけ

町内各所に存在する、知られざる偉人、歴史、観光スポットの魅力を、講演会やフットパスを通じて再発見することで、シビックプライド（豊浦町への誇り）を醸成し、『次世代が住みたくなる豊浦』を作り上げようと企画しました。

## 活動内容

**第5回豊浦知っちょる会**（平成29年6月10日）  
 テーマ：『黒井地区の名所・旧跡について』  
 講師：黒井公民館長 小林康和氏  
 ～豊浦フットパス in 黒井～（平成29年6月18日）  
 テーマ：『毛利殿様街道を往く』

**第6回豊浦知っちょる会**（平成29年10月28日）  
 テーマ：『宇賀地区の名所・旧跡を辿る』  
 講師：川棚温泉まちづくり会社 調査研究員 村上明氏  
 ～豊浦フットパス in 宇賀～（平成29年11月19日）  
 テーマ：『小学生と巡る偉人たちの足跡と旧跡』

## 活動の成果

### 【知っちょる会】

地域の自然や歴史に関心を抱く人が増えており、継続開催を望む声が多いです。

「地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと」

### 【フットパス】

「こんな素晴らしいものがあるとは知らなかった」「初めて見たものがたくさんあった」「また参加したい」との感想が多く聞かれます。特に、小学校の地域学習と絡めて開催した『豊浦フットパス in 宇賀』には、小学生とその保護者が多数参加し、他地域の方々との交流も行えました。また、開催に先駆けて、該当地域の自治会と協働し、道路整備を行いました。

# 『部会報』及び『ようこそ、豊浦へ!』発行

## 活動のきっかけ

3カ月ごとに発行する『会報』では伝えきれない、各部会の詳細な活動内容と、豊浦町に惹かれて移住してきた人々の人となり、それぞれ『部会報』と『ようこそ、豊浦へ!』を発行することで、より住民に拡散したい、という思いがきっかけです。

## 活動内容

### 『部会報』

- 4月：生活環境部会報-空き家対策と移住者支援について
- 5月：文化・スポーツ部会報-豊浦知っちょる会の概要
- 7月：地域活性化部会報-豊浦町内の漁協情報
- 11月：医療・福祉部会報-施設見学と講演会の報告
- 2月：地域活性化部会報-豊浦町の美味しい農・水産物と企業紹介

### 『ようこそ、豊浦へ!』

4月、5月、7月、11月、1月、2月発行

## 活動の成果

アンケート調査では、「U、Iターンの記事を楽しんだ」「部会ごとの活動がよくわかる」等、肯定的なご意見が寄せられました。特に『ようこそ、豊浦へ!』については、掲載をきっかけに、移住者が経営する店の来客数増加や、交友関係の広がり、紹介地域の方からの感謝の声など、プラスの効果を生んでいます。中には、「字が小さく読みづらい」「お金をかけ過ぎ」など、厳しいご意見もありますが、今後も、より読みやすく、より有意義な情報を伝えるものとなるよう努力します。





# 豊北地区まちづくり協議会

ホームページ <https://houhokumatizukuri.wixsite.com/mysite-2>

メールアドレス [hauhokumatizukuri@chic.ocn.ne.jp](mailto:hauhokumatizukuri@chic.ocn.ne.jp)

## 《協議会概要》

設立年月日 平成 27 年 12 月 8 日

事務所 〒759-5331 下関市豊北町大字神田 1199 番地 1

豊北生涯学習センター内

☎ / 画像 : 083-786-0010

地域の状況 (人口) 9,103 人 (世帯数) 4,460 世帯 (H30.3.31 現在)

(中学校区) 豊北中学校 (面積) 168.64 k m<sup>2</sup>

設置部会 企画部会、活性化部会、安全安心部会、教育子育て部会

活動の概要  
・ 広報紙の発行 ・ ホームページの更新管理 ・ まちづくり計画策定  
・ シニア交通教室 ・ 防災研修会 ・ 町の活性化ワークショップ開催  
・ 小学校統合意見交換会 ・ 消えゆく校歌の保存公開 ほか

～豊北地区まちづくり協議会 事例No.1～

## 観光動向実態調査事業

### 活動のきっかけ

近年、豊北地区の観光客数は増え続けていますが、観光客の利用実態やニーズを十分に把握することで、観光振興策の充実と交流人口の増加を図り、まちの活性化につなげるため、当事業に取り組みました。

### 活動内容

#### 【アンケート調査の実施】

実施時期：夏、秋の 2 回

実施場所：道の駅「北浦街道ほうほく」他 3 カ所

実施方式：面談方式

回答数 : 390 件

(指導：下関市立大学付属地域共創センター)

30年2月3日に集計結果の報告会を開催し、その後、観光関係者などに調査報告書を配布しました



## 活動の成果

この調査により、豊北地区の観光課題が明らかになりました。

- 1) 情報発信体制の整備：豊北地区が主体となり、情報発信する仕組みを整える
- 2) 観光体験の選択肢の充実強化：自然環境を損なわない体験型観光や、食事・買い物施設の充実
- 3) 市内他地区や隣接市との広域連携：情報発信、滞在時間の長期化、リピーターの増加

報告会の開催と報告書の配布により、これらの課題を観光関係者をはじめ、行政や地域住民に周知することが出来たことは大きな収穫でした。

今後、関係者や行政などと連携しながら取り組んでいきます。

## ～豊北地区まちづくり協議会 事例No.2～

まちの活性化について考える

## 『第1回ワークショップ』開催

### 活動のきっかけ

豊北地区の重要課題は、人口減少・高齢化の進行に伴い、スーパーの撤退などで、住民を支える生活基盤が弱体化し続けていることです。

「どのようにすれば豊北地区を活性化できるか」まずは、様々な階層の人々を交えた議論の場を設け、町の現状を共有し、そこから「まちづくり」について考えることが必要と思いました。

### 活動内容

#### 『まちのお宝を探せ』

－ないもの探しより、あるもの探し－

テーマ：「10年後の豊北地区の将来を考える」

開催日：平成29年9月23日

参加者：商工会青年部、高校生など43名

下関市立大学附属地域共創センターの指導により、6班に分かれて、活発な議論を交わしました。

#### 《提案意見》

「下関北高校を中心とした地域の活性化」

「地域に貢献できる若者の育成」

「地域が一体となった観光地づくり」

「自然の維持と観光との共存」「世代間交流の推進」

### 活動の成果

出席者からは、地区の現状と将来を見据えた対策について、活発な意見が提案されました。

このうち、意見の多かった「下関北高校の存続」、「滝部温泉の活用」の2つにテーマを絞り、11月25日には『第2回ワークショップ』を開催しました。

今後も、提案された意見を参考に、まちの活性化に向けて取り組んでいきます。

10年後のまちづくりのためには、

まちづくり協議会の活動が必要不可欠!!

活動継続のため、啓発活動のほか、行動する人材の確保などに取り組んでいきます

まちづくり  
のヒント





**《下関市まちづくり協議会活動事例集 平成 29 年度》**

**平成 30 年 12 月発行**

下関市市民部まちづくり政策課

〒750-8521 下関市南部町 1 番 1 号

TEL.083-231-1261 FAX.083-231-1405

E-mail: skshimin@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

...地域サポート室...

〒750-0009 下関市上田中町 1 丁目 16 番 3 号

TEL.083-231-1385 FAX.083-231-1383

E-mail: chiikisuport@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

下関市のホームページ

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp>